

単元名 めざせ 楽き名人(2)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、手の移動などの奏法や、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつことができる。
- (3) 曲想にふさわしい演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

02070206_001

【教材名】 こぎつね (歌唱 器楽) (P. 40～P. 41)

【準備等】 範唱CD, 範奏CD, 鍵盤ハーモニカ, 木琴, 鉄琴 など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 曲の感じを生かして「こぎつね」を歌ったり、鍵盤ハーモニカで演奏したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範唱を聴いて「こぎつね」の曲の雰囲気をつかむ。 ★ きよくの かんじを 生かして えんそうしよう ○ 「こぎつね」を歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞唱で歌う。 ・ 3・4小節目の繰り返す部分の強弱を工夫して歌う。 ・ 1～3番の歌詞の表す情景や気持ちを想像して歌う。 ・ 歌詞に合うように、声の感じや強弱を変えて歌う。 ○ 「こぎつね」を段ごとに演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 階名唱をする。 ・ 運指唱をする。 ・ 鍵盤の位置を確認する。 ・ 3の指や5の指の移動を確認する。 ・ 段ごとに演奏する。 ○ 曲の感じを生かして鍵盤ハーモニカで演奏する。 ○ 「もっとあそぼう」に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4小節の音型を確認する。 ・ 重ねて演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返される旋律のフレーズの強弱を変えて歌う。 (例) 強く→弱く 弱く→強く ・ 1～3番の歌詞に着目させ、それぞれが表す様子を確認する。 1番…山の中～気の葉っぱや木の実がたくさんある中で、おしやれをして遊んでいる。 2番…冬の山～遊ぶものがなくて退屈している。 3番…窮屈な穴の中で考え事をしている。 【共通事項】 旋律 フレーズ 反復 【評】 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとを関わらせて歌う活動を通して「知識」を評価する。 ・ 階名唱→運指唱→演奏を段ごとに行うとよい ・ 3の指と5の指の移動については、教科書P. 40で確認する。 【評】 手の移動などの奏法や、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする活動を通して「技能」を評価する。 ・ 歌詞唱での工夫を基に、楽器でも強弱などを工夫して演奏するよう伝える。 【評】 旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を工夫する。 ・ 学級の実態に応じて、歌で取り組ませたり、木琴や鉄琴で取り組ませたりするとよい。 ・ 休符に気を付けて演奏するよう伝える。 【評】 曲想にふさわしい表現をする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】